

国際ひろば

「やさしい日本語」

「やさしい日本語」とは、普段使われている日本語を、日本語を母語としない外国人の皆さんにもわかりやすいように配慮した簡単な日本語のことです。1995年に起きた阪神・淡路大震災では、たくさんの方が被害を受けました。その中には、日本語や英語だけでは必要な情報を受け取ることができない人がたくさんいました。そこで、災害が起きたときに適切な行動をとれるように、早く正しい情報を伝えるために「やさしい日本語」が考案されました。

飯塚市には、現在 36 カ国の外国人の方が暮らしています。その国の言葉がわからなくても「やさしい日本語」は普段の生活の会話でも使うことができます。

クイズ 次の(1)~(5)文を「やさしい日本語」にしてみましょう。

- (1) ご用件は何ですか。
(ヒント：文を簡単にする。)
- (2) 今日は可燃ごみの日ではないですよ。
(ヒント：難しい言葉を易しい言葉に言い換える)
- (3) どこから来んしゃったと？おいくつくらい？
(ヒント：方言はなるべく使わない)
- (4) そこに置いてっていいよ。
(ヒント：文末はなるべく「ます」「です」「してください」を使う)
- (5) 今度の日曜日は町内会の清掃活動の日です。
(ヒント：漢字にはふりがなをつける)

- 解答例
- 答1 どうしましたか。
答2 今日は、もえるゴミは出したらダメです。
答3 国はどこですか。何歳ですか。
答4 そこに置いてください。大丈夫ですよ。
答5 今度の日曜日は町内会の清掃活動の日です。
(または) 今度の日曜日は、みんなで掃除をします。

「やさしい日本語」に正解はありません。相手を思いやって伝えようとする気持ちが、飯塚市の共生社会実現への一歩になります。災害時以外の場面でもぜひ「やさしい日本語」を使って日本語を母語としない外国人の皆さんと話をしてみてください。

※その他、国立研究開発法人情報通信研究機構が開発したVoiceTra (ボイストラ) というスマートフォン用の多言語音声翻訳の無料アプリも会話に役立ちます。通信料はかかりますが、27言語に対応しています。



飯塚市では、外国人の方のために「やさしい日本語」で行政情報を発信しています。

みなさんもこのフェイスブックに「いいね！」をお願いします。

